



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2009. 12月号

平塚市博物館・財団法人かながわ考古学財団 共催 平成21年度地域速報展

相模国府の発掘調査

— 湘南新道関連遺跡・神明久保遺跡の調査成果から —



相模国府跡の現況と

参加者でにぎわう現地説明会(右)

開催期間 2009年12月12日(土)～2010年1月24日(日)

財団法人かながわ考古学財団では、神奈川県内各地で国・県等の公共事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施しています。発掘調査は開発工事によって消滅する遺跡を図面や写真に記録する作業ですが、その後、出土品等の整理作業を経て、最終的に調査報告書を刊行し、全国の図書館・研究機関等へ配布することで、一連の調査は終わります。遺跡の調査は、時折、現地見学会や遺跡発表会などを通じて成果の一端を県民の皆様を紹介する機会がありますが、出土品等整理・報告書制作を通じて、現地の作業だけでは判らなかつた新たな事実が得られることも少なくありません。

そこで、今年度は平塚市博物館と共催して、かながわ考古学財団が相模国府域で行った発掘調査のうち、湘南新道関連遺跡と神明久保遺跡の成果について、展示・講演会等を通じてご紹介いたします。

地域速報展関連事業「ようこそ考古学」

地域速報展の展示解説と講義

日時：平成21年12月20日(日)14:00～16:30

会場：博物館講堂・特別展示室

講師：柏木善治(財団法人かながわ考古学財団)

参加：往復はがき又はメールで行事名・住所・電話番号・氏名を記入のうえ「かながわ考古学財団 野庭出土品整理室」に申込

あて先は次ページをご覧ください

締切：平成21年12月15日(火)(必着)

定員：80名(応募多数の場合は申込先着順)



古代の武蔵国が東京都と神奈川・埼玉両県にまたがって存在することに象徴されるように、3都県は旧石器時代から密接な関係をもっています。今回の公開セミナーは、平成21年度地域速報展の開催に合わせて3都県の調査・研究組織が共催して古代東国における鉄の文化について考えます。

日時：平成22年1月16日（土） 午前10時～午後4時40分

会場：平塚市教育会館3階 大会議室

対象：一般 参加費：無料

申込：往復はがき又はメールで行事名・住所・電話番号・氏名を記入のうえ下記に申込

締切：平成22年1月12日（火）（必着）

定員：300名（応募多数の場合は申込先着順）

共催：財団法人かながわ考古学財団、財団法人東京都スポーツ文化事業団
財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団、平塚市博物館

内容：

第一部

10:10～

趣旨説明

10:25～11:00

報告1

相模国府域の鉄生産の様相

明石 新・栗山雄揮（平塚市博物館）

11:00～11:35

報告2

相模・南武蔵の鉄生産

齊藤真一氏（かながわ考古学財団）

11:35～13:00

昼休み

13:00～14:05

特別講演

古代都城と集落の鉄

松村恵司先生（文化庁）

14:05～14:40

報告3

北武蔵の鉄生産—大山遺跡の事例を中心に—

赤熊浩一氏（埼玉県埋蔵文化財調査事業団）

14:40～15:15

報告4

南武蔵多磨郡における鉄器の生産と流通

松崎元樹氏（東京都埋蔵文化財センター）

第二部

15:20～16:35

ミニシンポジウム「よみがえる古代東国の鉄文化」



地域速報展関連事業の参加申込先

〒234-0056 横浜市港南区野庭町1660

（財）かながわ考古学財団 野庭出土品整理室

メール： fukyu@kaf.or.jp

「お正月の神さま」

暮れは何かと気忙しくなる人も多いのではないのでしょうか。年が切り替わることは、季節感を失いがちな現代人にとっても大きな節目になっています。

なぜ、新年はめでたいのでしょうか。それは年神(としがみ)が家々を訪れ、私たちに新たな活力・生命力を授けてくれるからです。門松は年神を招くしるしです。玄関のしめ飾りやしめ縄は、不浄なモノの侵入を避け、年神様をまつる空間、つまり家の中を清浄に保つために飾ります。正月期間中、家は祭場になるのです。

お正月に旧家を訪れると、ザシキに祀った大神宮



サンダワラボッチに挿した
年神札(入野)

祠の横に年神の御札を見ることができます。「大年神 御年神 若年神」などと刷った御札です。この御札をサンダワラボッチに立てたり、輪切りの里芋や大根に挿したり、祠に入れたりして年神棚にまつります。年神をはじめ、大神宮様やえびす様、荒神(こうじん)様、井戸、物置の戸など、神さまが宿りそうなすべての場所にしめ飾りをします。

昔は、お正月に皆がいつせいに一つ年を取りました。その年を授けてくれるのが年神です。子どもが楽しみにしているお年玉は、元々は年の霊・魂(たま)の意味であり、その象徴のひとつが餅であったと考えられています。

寄贈品コーナーでは、各種しめ飾りや年神の札、正月行事の写真などを展示します。



新年の神棚 左方が年神棚(岡崎)

プラネタリウム 2010年の天文現象

2009年12月5日～2010年1月31日

書き込みだらけのカレンダーの下に、まっさらな新しい年のカレンダーを用意する・・・あわただし年末にあって、心がときめくひとときです。12～1月のプラネタリウムは、冬の星空のご案内に加え、2010年に見られるおもな天文現象をまとめて紹介します。白いカレンダーに書き加えていただけるのは、どの現象でしょうか？

■おもな天文現象■

火星の接近(1～2月)

金星がよいの明星(2月～10月)

土星の見ごろ(春)・木星の見ごろ(秋)

ペルセウス座流星群(8月13日ごろ)

ふたご座流星群(12月14日ごろ)

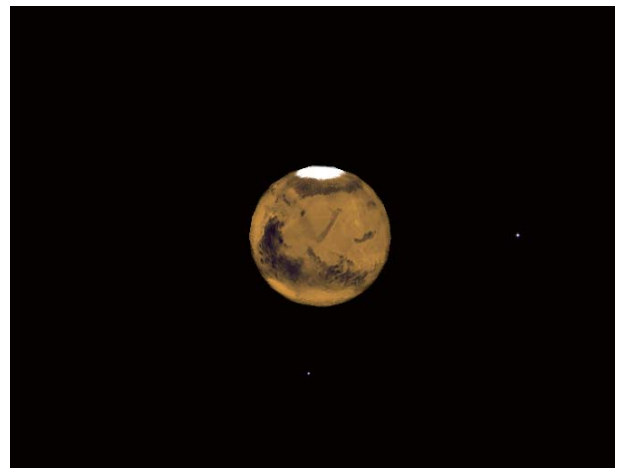
月食(1月1日部分、8月24日部分、12月21日皆既)

どの現象がおもしろそうか、見やすそうか、再現シーンに注目してください。

投影期間：12月5日～1月31日
(年末年始の休館日を除く)

投影日：土曜日・日曜日 11:00 14:00

観覧料：100円(中学生以下無料)



2010年1月28日午後10時(日本時)の火星面

StellaNavigator Ver.8(株式会社アストローツ)で作成

2	水	☆	寄贈品コーナー「民俗」～1月7日(木)	寄贈品コーナー
3	木		展示解説ボランティアの会	講堂
4	金		古文書講読会	講堂
5	土	☆	プラネタリウム「2010年の天文現象」 ～1月31日(日)	プラネ
6	日		地質調査会	野外(雨天:科学室)
			平塚の古代を学ぶ会	講堂
10	木		石仏を調べる会	特研究室
11	金		古文書講読会	講堂
12	土		古代生活実験室	科学室
		☆	地域速報展「相模国府の発掘調査」 ～1月24日(日)	特別展示室
			地質調査会	特研究室
13	日		天体観察会	館外(月光天文台)
			水辺の染校生きもの調べの会	野外
16	水	○	体験学習「お飾りを作ろう」	講堂
			民俗探訪会	特研究室
17	木		裏打ちの会	科学室
			展示解説ボランティアの会	講堂
19	土		お囃子研究会	講堂
			地域史研究ゼミ	特研究室
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
20	日	○	ようこそ考古学「地域速報展」	特展示室・講堂
		◎	ろばたばなし	相模の家
			相模川の生い立ちを探る会	科学室
			星まつりを調べる会	特研究室
28～31 年末休館				

1～4 年始休館				
7	木		展示解説ボランティアの会	講堂
8	金		古文書講読会	講堂
9	土	☆	寄贈品コーナー「生物」～2月14日	寄贈品コーナー
			古代生活実験室	科学室
			地質調査会	特研究室
10	日		天体観察会	科学室・屋上
			水辺の染校生きもの調べの会	野外
14	木		石仏を調べる会	館外・土沢地区
15	金		古文書講読会	講堂
16	土	○	公開セミナー「古代の鉄生産」	教育会館
		○	自然教室	講堂
			天体観察会	科学室・屋上
17	日	◎	ろばたばなし	相模の家
			相模川の生い立ちを探る会	館外・横須賀市(雨天:科学室)
			平塚の古代を学ぶ会	講堂
20	水		民俗探訪会	特研究室
			裏打ちの会	科学室
21	木		展示解説ボランティアの会	講堂
22	金		古文書講読会	講堂
23	土	○	考古学入門講座	講堂
			星まつりを調べる会	科学室
			地質調査会	特研究室
			天体観察会	科学室・屋上
28	木		石仏を調べる会	特研究室
29	金	◎	星を見る会	屋上・科学室
30	土		お囃子研究会	講堂
			地域史研究ゼミ	特研究室
			平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
31	日	◎	プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ

☆: 展示、プラネタリウム ○: 申込制 ◎自由参加 無印: 年間会員制

特別展示室

☆平成21年度 地域速報展

相模国府の発掘調査－神久保遺跡・湘南新道関連遺跡の成果－

期 間: 12月12日(土)～1月24日(日)

場 所: 特別展示室

内 容: 神久保遺跡と湘南新道関連遺跡の発掘調査成果を公開します。

共 催: 財団法人かながわ考古学財団

参加申込受付

○自然教室「ミジンコのペーパークラフトを作ろう」

ミジンコってどんな生き物? 工作をしながら勉強しましょう。

日 時: 1月16日(土) 午後1時～午後3時

場 所: 科学教室

対 象: 小学生、中学生

申 込: 往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込み。 1月6日必着。

定 員: 20人(多数の場合抽選)

その他: 小学生は保護者同伴のこと

○考古学入門講座「城の考古学 その2」

考古学の基礎知識と最新の情報について講義します。今年度のテーマは「城の考古学」。

日 時: 1月23日(土) 午後2時～3時30分

講 師: 栗山雄揮(平塚市博物館)

場 所: 博物館講堂

申 込: 往復はがきに住所・氏名・電話番号を記して申込み。 1月15日必着。

定 員: 80人(多数の場合抽選)

プラネタリウム一般投影

☆「2010年の天文現象」

西暦2010年の天文現象を紹介します。

投影日: 12月5日(土)から1月31日(日)までの

土・日曜日の午前11時～午後2時

観覧料: 100円(中学生以下無料) 定員86名

自由参加行事

◎ろばたばなし

民家のいろいろばたで昔話を聞いてみませんか。

日 時: 12月20日(日) (1)午後1時20分～ (2)午後3時～

場 所: 展示室1F 民家(参加自由)

寄贈品コーナー 情報コーナー

☆寄贈品コーナー「お正月の神さま」

期 間: 12月2日(水)～1月7日(木)

場 所: 平塚市博物館 1階寄贈品コーナー

内 容: 正月のしめ飾りや年神札、正月行事の写真などを展示します。

☆企画展示「深海・相模湾に潜る」

期 間: 12月2日(水)～1月31日(日)

場 所: 平塚市博物館 2階情報コーナー

内 容: 昨年、海洋研究開発機構の潜水調査船(ハイパードルフィン)で相模湾に潜航し収集した岩石・生物試料や映像を基に、深海・相模湾の様子を紹介します。

あなたと博物館 37巻9号 通算396号 発行 平塚市博物館 2050

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/